

個別事業(取組)評価

事業No.	15	施策の柱への位置付け	柱② 教員指導力改革	
事業名称	教員指導力改革実践事業 (中学校国語授業改善プロジェクト事業)		担当課	教育センター
			当初予算額(千円)	1,352
			補正後予算額(千円)	1,404
			決算額(千円)	878

	当初計画	年度末点検・評価
--	------	----------

① 現状 (課題) とその要因	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成22年度の全国学力・学習状況調査では全国平均と比べ、知識・活用問題ともに、2.5から4.3ポイント低い結果となっている。少しずつ、全国平均に近付いているものの、まだ全国水準には達していない。 ◆ 授業におけるPDCAサイクルが十分確立されていない。そのため不可欠な学習指導要領の理解や、3年間を見据えた指導の系統性の整理、また、授業の構成等が十分でない。 <p>【要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習指導要領の理解が不十分であるために、国語の授業を通して、目の前の子どもたちにどのような力を付けるのかという、目指すべき姿が明確でない。 ◆ ねらいに向けた教材解釈が十分に行われていない。 ◆ 本県や自校の国語学力の課題を意識した授業改善が進んでいない。 	<p>ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>全国学力・学習状況調査結果等から把握していた。</p>
	<p>イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>全国学力・学習状況調査結果等から把握していた。</p>	

② 目標 (Outcome)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本事業で使用する授業力に関する自己評価や校長による他者評価の項目のうち、学習指導力の平均値を3.30以上とする。 ◆ 「授業分析シート」により、生徒の状況や教師の授業力等に改善傾向が見られる受講者を90%以上にする。 <p>【検証(比較)方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 本事業で取り上げる授業力の要素のうち、学習指導力、教材開発・活用力、生徒評価力の変容を自己評価や管理職による他者評価のチェックリストを用いて把握 ◆ 各受講生が自己研修の過程を考察し、記録する「授業分析シート」を通して、生徒の実態や教師の指導力についての改善が見られるかどうかを検証 	<p>ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>全国学力・学習状況調査の質問紙調査については、本県の特に大きな改善課題であり、本事業でも目標値としたが、設定が高すぎた。</p> <p>エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習指導力の自己評価と校長による他者評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年目受講者 自己評価 3.26 他者評価 3.56 { 1年目受講者の学習指導力の自己評価、他者評価 } <ul style="list-style-type: none"> 自己評価 H21 3.07 H22 3.00 H23 3.26 他者評価 H21 3.44 H22 3.41 H23 3.56 ・ 2年目受講者 自己評価 3.20 他者評価 3.41 ◆ 「授業分析シート」について <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の状況について 国語好感度が高まっている学校 85% ・ 教師の授業力について 研修を踏まえて授業改善に取り組んでいる 100%
----------------------	---	--

③ 実施内容 (Input・Output)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2年間の研修プログラムとして、集合研修と所属校における研修を実施 ※ 平成21年度に採用11~25年経験者113名を3年間に分けて受講 ① 1年目研修の主な内容(H23対象者31名) 学習指導力、教材開発・活用力、生徒指導力にポイントを絞った5日間の集合研修の実施 ◇ 勤務校における研究授業(3回)等の実施 ・研究授業のうち1回は指導主事等が訪問指導 ② 2年目研修の主な内容(H23対象者29名) ◇ 1年目の各自の課題を踏まえ、勤務校における研究授業等を実施 ・「授業分析シート」及び学習指導案を年度末に提出 	<p>オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 1年目研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講対象者 31名 オープン参加の受講者 延べ52名 ・ 集合研修 5日実施 <ul style="list-style-type: none"> 5/20 「高知県の教育課題」(小中学校課) 「学習指導案の作成と授業改善の実践研究の手法」 8/9・10 「学力検査の結果分析」(高等学校課) 「国語はおもしろい教科」、「国語の授業が変わる」 講師:宮城教育大学 相澤秀夫教授 「新学習指導要領における指導計画の在り方」 模擬授業、「学校図書館を活用した授業づくり」 1/5 講師:文部科学省 富山哲也教科調査官 等 ・ 勤務校研修 予定どおり実施し、研究授業へ各1回指導主事が訪問 ◆ 2年目研修 29名 勤務校による研修を行い、授業分析シート等を全員が提出
-----------------------------	---	---

総合評価 と 今後の方向	<p>目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/></p> <p>【総合評価】</p> <p>「授業分析シート」の記述からも、受講者は、研修を通して、授業を改善することが生徒の変化、学力の向上につながることを実感し、生徒の実態をテストやアンケート等で把握・分析して授業改善を行うなどPDCAサイクルの意識をもって授業を行うようになってきている。</p>	<p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 目的や意図に応じた言語活動を意識した授業が行われるよう、2年目研修で使用する「授業分析シート」を改善する。 ◆ 学習指導要領の趣旨を生かした授業改善が進むよう、採用15・20年次の教員を対象とした悉皆研修を平成24年度から実施する。
--------------------	--	---